

開	4
催	K
さ	と
れ	トル
た	デ
双	ジ
子	ア
の	ン
レ	
ー	
ス	

これまで200マイルオーバーのレースとして有名だったトルデジアンだが、今年は「同じルート、1週間違い、逆方向」で2つのレースが開催された。経緯も含めて、違いなどを解説したい。

分裂は唐突に

2月にトルデジアンの主催者である地元トレイル団体（VDA Trailers）に対して、イタリアのヴァッレ・ダオスタ自治州政府が、大会の開催権を返上するように要求したのが事の発端。州政府は大会の名称使用権があると主張して、裁判沙汰に。結果的には州政府が敗訴となり、トルデジアンは名称を使えず、4Kアルパインエントランストレイルヴァレ・ダオスタ（4K VdA ※以下、4K）の名前で、別個の大会が開催されることになった。

実際に、同様のトラブルは他にもあり、隣町で行われているフランスの「Ice Trail Tarentaise」がそうだった。元の主催者は開催権を奪われ、大会は中止に追い込まれている。

難易度

同じルートを進むだけだが、多くの人々がトルデジアンよりも4Kのほうが難しいと評価している。実際に4Kは序盤の制限時間が厳しく、2日で約半数がリタイアしている。優勝タイムもトルデジアンが75時間に対して、4Kは82時間だった。また、100時間以内の完走者もト

ルデジアンが18人だったのに、4Kは10人しかいなかった。

スポンサー比較

スポンサーの数は、4Kが30に対してトルデジアンが19。4Kは州政府が主体になり、メインパートナーは高級腕時計のオーディマ・ピゲ（1つ最低130万円から）とモンテュラ。トルデジアンは地元のトレイル団体が主体で、メインパートナーはインターネットの会社とモンティン。

GPSトラッキング

安全確保という名目で、4Kでは全員がGPS機器を持たされた。これはイリジウム回線を使った機器で、全世界から居場所を送信できるもの。すべてのランナーの居場所が、ほぼリアルタイムで分かった。電池は15分おきの送信なら3週間もつ大容量のもので、大きさは14×8cmで300g以上あった。ちなみに、トルデジアンでは、持たされなかった。

マーキングの旗

トルデジアンは、径2mmの棒にTDGとある黄色い旗が設置された。4Kは径6mmの棒に州の紋章が入った3角の黄色い旗で、州の紋章が

トレイル通信

第111回

トレランビギナーのためのベーシックアドバイス

Trail Run

今月のお気に入り

オーディマ・ピゲ ロイヤルオーク 15400ST.OO.1220ST.01



オーディマ・ピゲ ロイヤルオーク
15400ST.OO.1220ST.01
税込みで200万円弱

せっかくの機会なので、4Kのメインスポンサーとなったオーディマ・ピゲを紹介しよう。

高級腕時計といえばオメガ！ロレックス！といったブランドを答える人が多いが、ガチな富裕層が身に着けるのはそのさらに上のハイブランドだ。オーディマ・ピゲは、パテック・フィリップやヴァシュロン・コンスタンタンと並んで、世界3大高級時計メーカーの1つに数えられる。

定番品はロイヤルオークで、ステンレス製の八角形のベゼルと、

その角にある8本のネジが特徴的なデザインとなっている。写真の15400ST.OO.1220ST.01はシンプルだが、仔細に見ると文字盤には複雑な加工跡を確認でき、ネジの頭はすべて同心円を描く位置で止まっている。

自動巻きなので半永久的に使え、故障をしても永久に修理をしてくれるので、まさに一生モノだ。オフィスでもカジュアルでもざりげなく使えるが、人を選ぶので、着けるのは相応の人になってから！

入った豪華な反射板も設置された。

ゴール

4Kのゴールは、原っぱに赤いカーペットが敷かれた。

トルデジアンは、街なかにひときり高いゴールゲートが設置された。

4Kの装飾にトルデジアンの文字がないように、トルデジアンの装飾にもヴァレ・ダオスタの文字や、州の紋章は一切なかった。

完走賞

4Kの完走賞はモンチュラのグレイのジャケットで、青い4Kのロゴが入っていた。

トルデジアンはモンティーンのパーカーで、フレンチブルーの生地にはトルデジアンのロゴが入っていた。昨年のトルデジアンの完走賞は、地球防衛軍を彷彿させるデザインで、とても普段使いできなかったが、今回はどちらも安心できる形だった。

失格

トルデジアンでは2件の失格が発生した。1つは抜き打ち検査で必携装備品の不携帯によるもの。もう1つはスイス人が国籍を偽り、リトアニア国籍でエントリーしたもの。抽選倍率が高くなり、国籍によって枠が決まるために出てきた不正だった。

ジャン・ミシエルのゴール

ジャン・ミシエルは、ぱつと見て東南アジア系だが、フランスに住むフランス人だ。彼は地の利を生かして(？)、UT4M、UTMB、4K、トルデジアンの4大会をすべて完走しており、1カ月内に約1000km

数字で見る2大会

4KVdA		トル・デ・ジャン
〈フェイスブック〉		
623,695	ユーザー	2,194,000
312,591	投稿の数	816,000
183,464	ビデオ視聴数	740,000
〈サイト〉		
85,047	ビジター	140,000
276,337	閲覧者総数	400,000
712,703	閲覧ページ数	1,261,784
〈ライブ〉		
86,085	ビジター	130,000
N/A	閲覧者総数	600,000
145,023	閲覧ページ数	4,062,000
〈メディア〉		
90	取材者登録数	350
800	メディアの数	N/A
(AostaSera調べ)		

トル・デ・ジアン

2大会のそれぞれの特徴

4KVdA	発着点	トル・デ・ジアン
コーニュ	回る方向	クールマイヨール
時計回り	完走者	反時計回り
300人	制限時間	446人
155時間	100時間内	150時間
10人	ウェア	18人
モンチュラ	モンティン	
ジャケット	完走賞	パーカー
あり	入賞賞金	なし
9月2~10日	来年の開催	9月10~17日

「数字で見る2大会」を見ると、トルデジアンが2~3倍のスコアとなっているのが分かる。とはいえ、4Kは第1回であり、告知期間も短かったことを考えると、健闘といえるだろう

走ったことになる。トルデジアンのゴールの際には、有志により騎馬戦よろしく担がれて入ってきた。2年前にカネバという女子選手が優勝したときも彼氏が肩車をして2人に入ってきたが、助力行為!? などと無粋なことを言う人はおらず。

今年のトルデジアンは?

アイゼンの携帯が義務づけられたが、実際には雪が降る程度で、全体的に暖かい条件下で走れた。ただし、後半はほとんど雨が降り、先が見えにくい土砂降りにもなった。筆者はストックの代わりに傘を差して走り回ったが、これだとフードよりも視界が広いこともあり、ストックが無効化する岩場では、無敵の速さでリードを広げられた。来年も当選したい。

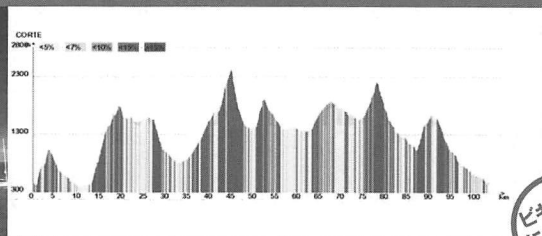
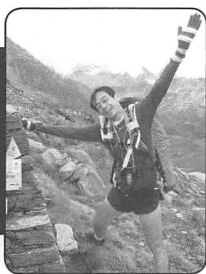
Q 日本でも対立はあるの?

A 日本では裁判沙汰になった大会はない、はず…。しかし、同日開催となつて対立した大会はある。トレランでは、青梅高水トレイルランが毎年4月の第1日曜日に開催されているが、ハセツネ30も同日に3回ほど開催されている。近い山域ということもあり、ボランティアスタッフなどのマンパワーが半減することは否めない。マラソンでは、ひとよし春風マラソンと同日に設定された熊本城マラソンの例もある。もっとも、両大会ともブームに乗って毎年参加者を増やしている。

今月の
プチ疑問!
→

吉本 亮

2002年に富士登山競走に出るも8合目手前で失格。同年の初マラソンは福知山で4時間。トルデジアンは制限時間の19分前にゴール。ひと眠りでも余計にしたら完走できなかったの、ヒヤヒヤもんでした。



ビギナーには無理
よ♡

2017年9月7~23日

今月のトレラン大会のご案内

ウルトラコルシカ

——1000kmオーバーのレース——

トルデジアンのようにノンストップレースだと、少人数なので長距離になるにつれて前後の走者が見えなくなり、競技性が薄く思えてくる。その点、1日ごとにスタートとゴールがあるステージレースは、差が開いても毎日同時にスタートできるので安心(?)だ。

そうしたステージが17用意された、超長距離レースがウルトラコルシカだ。イタリアの西にあるフランス領のコルシカ島を一周するもので、走行距離は1024km。トルデジアン3周分の距離を2.5

倍の日数でこなすことになるが、高低差は4分の3なので、どちらかといえば信越五岳に近いスピードレースとなっている。

コースの途中には、キャップコース半島、アグリエート砂漠、ポルト湾、パロバッキアビーチ、ナポレオンの街などがあり、ユネスコの世界遺産にも認定されている自然保護区も通る。

サポートは地元のチームスカイランの人たちが行い、誘導、宿泊施設のセッティング、次の地点への荷物の移動などを担当するため、

ランナーは走ることに集中し、リラックスしてゴールできる。ランナーは風光明媚な地中海の景色を堪能するだけではなく、キャンプ体験とコルシカの郷土料理にも満足してほしいとの配慮だ。

エイドは10kmごとにあり、水や食料などが用意される。明確な制限時間はないが、時速5.5kmで閉鎖されるので、目安にしよう。



総距離: 1024km
高低差: 1万8000m
競技形式: ステージ制で17
遠征日数: およそ3週間
宿泊場所: キャンプサイト(シャワー付き)